

七ヶ宿町

人口	1726	人	高齢化率	43.1	%
協定数	6	8割単価	2		
		通常単価	4		
協定締結面積	2,121,081	m ²	交付額	18,709,385	円

人口は平成21年10月現在、高齢化率は平成21年3月現在
協定締結面積・交付額は、平成20年度実績を記載

(1)干蒲集落協定	19
(2)湯原集落協定	20
(3)峠田集落協定	21
(4)滑津集落協定	22
(5)関集落協定	23
(6)横川集落協定	24



○農作業の共同化により、農地の維持を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 干蒲集落協定			
協定面積 20.7ha	田 (91.6%) 19.0ha	畑 (%) —	草地 (8.4%) 1.7ha	採草放牧地 (%) —
交付金額 125万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)			
	①担当者活動経費			5.5 %
	②視察研修費			4.0 %
	③水路、農道の草刈り、砂利敷			24.0 %
④耕作放棄地の管理、周辺林地の草刈り			6.9 %	
⑤七ヶ宿町推進協議会負担金			9.6 %	
協定参加	農業者19人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	利用権の設定や農作業の委託、防虫対策、法面点検等		
	水路、農道等の管理活動	水路の清掃と草刈り、農道の補修と草刈り		
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り、堆きゅう肥の施用等		
通常単価	1 取り組んでいる		② 取り組んでいない	

2. 特徴的な取組

集落の共同取組活動により農地の保全に努めた。
また、地域の特性を活かした作物の生産活動として、ヨモギの栽培を行った。



農道の草刈作業



耕作放棄地の管理 (草刈作業)



農道の整備 (砂利敷き)



水路の清掃

3. 取組んだ感想や今後の課題等

- 協定参加者の高齢化に加え、不在地主が多いため農地の保全に苦労した。
- 協定参加者の高齢化により、協定活動への不安が深刻化している。

<p>【平成21年度までの主な成果】</p> <p>○担い手への利用集積による集積強化 (当初3.2ha, 目標7.5ha, H21実績8.4ha)</p> <p>○水路・農道等の保安全管理活動により共同取り組みの意識向上が図られた。</p> <p>○地区運動会、「源流米ネットワーク」への助成が、地域の活性化に繋がった。</p>

○担い手の育成と農地集積で、農作業の効率化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 湯原集落協定			
協定面積 44.6ha	田(100%) 44.6ha	畑(%) -	草地(%) -	採草放牧地(%) -
交付金額 379万円	個人配分			50.0%
	共同取組活動 (50.0%)	①役員手当, 団地代表者会議, 報酬		7.9%
		②農家レストラン研修費, コミュニティ関係等		12.1%
		③用水路の草刈り, 農道の草刈りや砂利敷		14.7%
		④耕作放棄地の管理, 周辺林地の草刈り等		5.5%
		⑤七ヶ宿町推進協議会負担金	9.8%	
協定参加	農業者36人, 非農業者8人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権の設定や農作業の委託, 防虫対策, 法面点検等	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃と草刈り, 農道の補修と草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	①取り組んでいる		2 取り組んでいない	
	A要件	○	生産性・収益向上性	①機械・農作業の共同化
			担い手育成	②認定農業者の育成 ③担い手への農地集積 ④担い手への農作業の委託
		○	多面的機能の発揮	①保健林休養を活かした都市住民等との交流 ②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携 ③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携

2. 特徴的な取組

共同取組活動による農地の保全に加え、認定農業者の育成や担い手への農地集積を図り、農作業の効率化を図ってきた。

また、地区の夏まつりを通して、非農家の方々を始めとして、地域間の交流を進めてきた。



担い手の作業風景



地区の夏まつり（川魚つかみどり）

3. 取組んだ感想や今後の課題等

- 集落内の環境美化活動等を通して更に地域が活性化した。
- 協定参加者の高齢化により、協定活動への不安が深刻化している。

【平成21年度までの主な成果】
 ○担い手への利用集積による集積強化、認定農業者の育成が図られた。
 (当初19.8ha, 目標33.5ha, H21実績33.6ha)
 ○環境美化活動、循環型農業の取り組みにより地域の活性化が図られた。
 ○夏まつり、地区運動会、「源流米ネットワーク」への助成が、より地域の活性化に繋がっている。

○「安定」と「生産性の向上」を目指した、集落の試み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 峠田集落協定			
協定面積 19.2ha	田 (100%) 19.2ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -
交付金額 240万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)	①役員手当, 団地代表者会議, 報酬		4.2 %
		②動力散布機購入, コミュニティ関係等		15.8 %
		③用水路の草刈り, 農道の草刈り		16.2 %
		④景観作物種子代等, 耕作放棄地の管理等		4.2 %
	⑤七ヶ宿町推進協議会負担金		9.6 %	
協定参加	農業者28人, 非農業者6人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権の設定や農作業の委託, 防虫対策, 法面点検等	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃と草刈り, 農道の簡易補修と草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	① 取り組んでいる		② 取り組んでいない	
	A要件	○ 生産性・収益向上性	○	①機械・農作業の共同化
		○ 担い手育成		②高付加価値型農業の実践
		○ 多面的機能の発揮	○	③地場産農産物の加工・販売
		○	①新規就農者の確保	
		○	②認定農業者の育成	
		○	③担い手への農地集積	
		○	④担い手への農作業の委託	
		○	①保健林休養を活かした都市住民等との交流	
		○	②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
		○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携	

2. 特徴的な取組

当集落は高齢化の進行に加え、後継者のいない兼業農家が多い。そこで、農業生産活動を継続的に安定して行っていくため、担い手への集積や農業機械の共同化による、農作業の効率化を図ってきた。



用水路の清掃



共同機械利用（畦塗機）

3. 取組んだ感想や今後の課題等

共同取組活動やそば作付等により、農地の保全が図られた。しかし、協定参加者の高齢化は進んでおり、今後の活動について、不安が深刻化している。

【平成21年度までの主な成果】
 ○担い手への利用集積による集積強化。
 (当初1.9ha, 目標5.0ha, H21実績6.7ha)
 ○農作業用機械の共同利用により作業の効率化が図られた。
 ○地区運動会、夏祭り、「源流米ネットワーク」への助成が、地域の活性に繋がった。

○環境美化活動の実践をととした、集落の活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 滑津集落協定			
協定面積 40.0ha	田(100%) 40.0ha	畑(%) -	草地(%) -	採草放牧地(%) -
交付金額 385万円	個人配分			50.0%
	共同取組活動 (50.0%)	①役員手当, 団地代表者会議, 報酬		6.5%
		②認証栽培助成金, コミュニティ関係等		16.6%
		③用水路の草刈り, 農道の草刈り		14.4%
		④景観作物種子代等, 耕作放棄地の管理等		2.6%
		⑤七ヶ宿町推進協議会負担金	9.9%	
協定参加	農業者44人, 非農業者9人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権の設定や農作業の委託, 防虫対策, 法面点検等	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃と草刈り, 農道の簡易補修と草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 景観作物, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	(1) 取り組んでいる			
	A要件	○ 生産性・収益向上性	○	①機械・農作業の共同化
			○	②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成	○	③地場産農産物の加工・販売
	○		①新規就農者の確保	
	○		②認定農業者の育成	
	○		③担い手への農地集積	
	○ 多面的機能の発揮	○	④担い手への農作業の委託	
		○	①保健林休養を活かした都市住民等との交流	
		○	②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
		○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携	

2. 特徴的な取組

みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度に基づき、農作物の栽培に取り組み、農林産物直売所への出荷・販売の取組を実践した。

また、公民館前の清掃活動のような、環境美化活動にも取り組んできた。



環境美化活動（公民館前広場の清掃）



用水路の草刈作業

3. 取組んだ感想や今後の課題等

○環境美化活動や用水路の改修等により、農地の保全管理が図られた。

○協定参加者の高齢化が、集落における不安な問題として、深刻化している。

【平成21年度までの主な成果】

- 農地の利用集積農作業の受委託等強化された。（当初4.8ha, H21実績13.1ha）
- 環境美化活動として、集落内の清掃や街道沿いに花の植栽が行われ地域の活性化が図られた。
- 県認証栽培助成金、高付加価値型農業の実践。
（当初0.3ha, 目標3.0ha, 実績7.9ha）
- 「源流米ネットワーク」への助成が、地域の活性化に繋がった。

○農作業の受委託の推進を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 関集落協定			
協定面積 49.1ha	田 (100%) 49.1ha	畑 (%) —	草地 (%) —	採草放牧地 (%) —
交付金額 314万円	個人配分			30.0 %
	共同取組活動 (70.0%)			
	①団地担当者会議, 役員手当等			6.7 %
	②農業生産活動等の体制整備の活動等の経費			23.9 %
	③用水路と農道の草刈り, 鳥獣害防止対策			26.8 %
④周辺林地の草刈り, 耕作放棄地の管理			2.7 %	
⑤七ヶ宿町推進協議会負担金			9.9 %	
協定参加	農業者59人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	利用権の設定や農作業の委託, 防虫対策, 法面点検等		
	水路, 農道等の管理活動	水路の清掃と草刈り, 農道の補修と草刈り		
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等		
通常単価	1 取り組んでいる		② 取り組んでいない	

2. 特徴的な取組

用水路の清掃や農道整備等の共同取組活動により、耕作放棄地の発生を防止できた。更に、農作業の受委託を推進し、農地の保全管理を行った。
また、有害鳥獣対策として電気柵を設置した。



用水路の清掃



鳥獣害対策 (電気柵設置)



耕作放棄地の管理



農道の整備 (草刈作業)

3. 取組んだ感想や今後の課題等

- 集落営農を目指したが出来なかった。
- ほ場の条件が異なるので、団地としての管理が大変だった。
- 協定参加者の高齢化は、深刻化しており、後継者の育成が必要である。

【平成21年度までの主な成果】

- 担い手への利用集積による集積強化された。(当初16.0ha, H21実績18.0ha)
- 水路・農道等の保全管理活動により共同取り組みの意識向上が図られた。
- 「源流米ネットワーク」への助成が、地域の活性化に結びついた。

○地場農産物の加工・販売を通じた、交流活動

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県刈田郡七ヶ宿町 横川集落協定			
協定面積 38.5ha	田 (100%) 38.5ha	畑 (%) —	草地 (%) —	採草放牧地 (%) —
交付金額 427万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)	①役員手当, 団地代表者会議, 報酬		5.8 %
		②横川活性化推進組合に対する助成金, 花の植栽等		4.7 %
		③U字溝蓋掛, 草刈り, 土砂上げ, 砂利敷等		28.5 %
		④周辺林地の草刈り等		1.2 %
⑤七ヶ宿町推進協議会負担金			9.8 %	
協定参加	農業者31人, 生産組織1, 非農業者19人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権の設定や農作業の委託, 防虫対策, 法面点検等	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃と草刈り, 農道の草刈りと砂利敷	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	① 取り組んでいる			2 取り組んでいない
	A要件	○ 生産性・収益向上性		①機械・農作業の共同化
				②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成	○	③地場産農産物の加工・販売
			①新規就農者の確保	
			②認定農業者の育成	
			③担い手への農地集積	
	④担い手への農作業の委託			
○ 多面的機能の発揮		①保健林休養を活かした都市住民等との交流		
		②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携		
	○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携		

2. 特徴的な取組

地域にある活性化センターで、地元の活性化推進組合と連携し、地場農産物の加工・販売を行い、非農家や他集落等との交流を図った。

また、共同取組活動を行うことで、農地の保全が図られた。



活性化センターでの豆腐づくり



用水路の清掃

3. 取組んだ感想や今後の課題等

協定活動参加者の高齢化により、共同取組活動が継続できるか、不安が深刻化している。将来を担う、次世代の後継者の育成が必要である。

【平成21年度までの主な成果】

- 担い手への利用集積による集積強化(当初2.9ha, H21実績7.2ha)
- 水路(水路補修9箇所)・農道(農道補修7箇所)等の保安全管理活動により共同取り組む意識の向上が図られた。
- 環境美化活動への取り組み、地場産農産物加工への助成等により地域の活性化が図られた。
- 「源流米ネットワーク」への助成が、地域の活性化に繋がった。